



人類に
奉仕する
ロータリー

Rotary



CHINO



ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

2016～2017年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

茅野ロータリークラブ活動指針

「楽しく奉仕・広がれ友好の輪」

2016 - 2017 会長 田中 淳喜 幹事 桑澤 一郎

Vol.12 1680 2016.11.2

会長挨拶

10月は健康診断月間ということで、私も20日に池田先生の所に健康診断に行ってきました。結果は、血管年齢90才、血圧170という、昨年と全く変わらない、散々な結果でした。検査の1週間くらい前からは、河原の湯で血圧を測り、だいたい140前後だったので、今年こそは、と意気込んでいったわけですが、その力みが裏目にでたのか、170という残念な結果に終わってしまいました。池田先生からは「そろそろお医者さんと仲良くなったほうがいいですよ」と優しい声をかけていただきました。私は昨日11月1日が誕生日で、61才になりました。しっかり高齢者ですので、頼れるのはお医者さんですので、池田先生とは是非仲良くしたいな、と思っていますので、よろしくお願いします。

さて今日の話ですが、10月31日が「そばの日」ということで、お蕎麦の話をしたと思います。11月に入り、いよいよ新蕎麦の季節となりました。私も健康のためもあり、週1～2回お昼は蕎麦屋へ行って、ざる蕎麦を食べます。

ある人が「小諸そば」という、首都圏で最大の店舗数を展開するチェーン店の立ち食いそば屋で蕎麦を食べた時、若い店員から「他の客から、あなたのそばの啜り方がうるさいと苦情が出たので静かに食べて下さい」と言われ、びっくりしたそうです。

落語でも、そばの啜り方が芸の見せどころになっているように、そばはつゆを付けて、勢いよく啜ることによって、その美味さが引き立つ、日本の食文化です。それが立ち食いそば屋とはいえ「啜り方がうるさい」と苦情を言われるとは羨ましいしなかったそうです。

「小諸そば」という屋号ですが、小諸産のそば粉を使っているわけでもなく、小諸市とは全然関係ないそうで、創業者が全国各地のそばを食べ歩いた際、小諸で食べたそばに感動を受けたことから、屋号を「小諸そば」にしたそうです。

創業者の思い入れだけで、地名が利用されているだけで、食品の不当表示にならないのか、消費者庁表示対策課に確認したところ、「消費者に著しく誤認を与えるかどうか」が判断の基準になるということで、店内に実際の産地とは違う産地を連想させるような、小諸のそば畑などの写真を貼ってあると、不当表示の可能性が高くなるそうですが、もうすでに看板だけで誤認を与えていると思えてしまいます。

日本のそばの自給率は、わずか24%にすぎず、あとは輸入に頼っており、輸入量の85%は中国、13%をアメリカからの輸入が占めています。

日本人が食べる日本蕎麦は、圧倒的に中国産です。この中国産が「信州そば」に化けるカラクリがあります。ファミリーマートのプライベートブランドで「信州そば」と商品表示された乾麺が販売されています。そこには「自家引き挽きたそば粉を使用。のどごしの良い細めのそばです。>とまで添え書きがあります。製造元は長野県戸隠の製麺会社です。その会社に、どこで収穫されたそば粉を使用しているのか、聞いてみたところ、中国産もしくはロシア産のそば粉を使っています、という答えが返ってきたので、それで「信州そば」と表示することが許されるのか尋ねたところ、「信州そば」の表示には、法的な決まりはありませんが、長野県内で製麺された商品については、「信州そば」と書いていい、という全国乾麺協同組合連合会のガイドラインに沿って商品表示しています、と言われたそうです。中国産のそば粉でも長野県で加工すれば「信州そば」になるわけで、それっておかしいでしょう、と言いたくなりますが、以上で会長挨拶を終わりにします。

幹事報告

※別紙幹事報告書

お誕生日おめでとう!

11月誕生日

- 浜整之介 会員
- 藤森千憲 会員
- 田中淳喜 会員
- 加藤宏治 会員



ニコニコBOX

人数 21人
金額 31,000円

- ◎田中淳喜会長 昨日61才になりました。もう若くありません。
- ◎松本南RC 飯沼新吾様 本日、私の娘 柳アルムが卓話をします。お聞きいただき米山への寄付をお願いします。
- ◎朝倉秀尚会員 柳アルムさんよろしくお願いします。
- ◎浜整之介会員 11月8日誕生日です。ありがとうございます。
- ◎面高新平会員 土、日曜に学会で浜松に行ってきました。パーティーでは餃子、鰻で満足しましたが、皮膚科医だけのオーケストラにはびっくりしました。

出席報告

会員数 54名
出席 41名
出席率 76%

柳(ゆ)アルム さん「就職活動」

こんにちは。信州大学経済学部経済学科4年、柳アルムです。私は、今年の2月から、就職活動をして、7月の末に日本の企業に内定をもらいました。今回は、外国人として、日本の就職活動をしながら、経験したこと、感じたことについてお話ししたいと思います。

まず、韓国と日本の就職活動の違いについて、軽く説明します。日本は、大学4年生のうちに、「内定」という形で、会社の入社が決まります。そのため、会社のインターンシップは、主に、大学3年生のときに行われます。短期間のインターンシップをしながら、会社の雰囲気や把握したり、実際の仕事を体験したりします。しかし、韓国は一般的に大学4年生のとき、インターンシップをします。また、インターンシップの期間も、日本より長いです。日本は1日だけのワンデーインターンシップや、長くて1週間程度の期間でインターンシップが行われますが、韓国は1ヶ月から6ヶ月程度の期間で行われます。

次に、日本は4年生まで、内定をもらうことが新卒で、次の年度からは新卒扱いをしません。そのため、みんなが必死で4年生のとき、就職しようとしています。しかし、韓国は、卒業してから、就職するのが一般的です。また、みなさんがよく知っているいくつかの大企業を除いて、一般的に筆記試験も、グループディスカッションもありません。履歴書を提出して、複数の面接で、採用が行われます。その代わりに、韓国の就活生は、多様な資格試験の勉強や語学試験の勉強をします。例えば、TOEICテストは、就活生であつたら、誰でも受ける当たり前の試験の一つです。みんなが受けるので、試験の点数も高くなり、みんながだいたい800点から900点、もしくは900点以上を狙って頑張っています。その以外にも、中国語の試験やパソコンの能力試験、経営や会計に関する試験などを勉強しています。

日本の企業は、学生が持っている潜在的な能力や学生の特性、仕事に対する適正を把握しようと頑張っていると感じました。韓国であつたら、履歴書で多くの人数が落とされます。韓国語で「スペック」と呼ばれる、大学の4年間やってきた経験や能力が足りないことが落とされる理由です。その「スペック」を少し詳しく説明すると、例えば、対外活動やボランティア活動、語学研修の経験などが挙げられます。「スペック」を持つためには、多くの時間とお金が必要ですので、全ての学生が多様な「スペック」を持つことはできません。しかし、日本の企業は、エントリーシートはだいたい通過されます。

また、日本の企業の面接でもっとも聞かれたのは、部活やサークルの経験とアルバイト経験でした。大学でどのような部活をして、その活動を通じて得たのは何か、また、経験によって感じたのは何かを聞かれました。アルバイト経験もほぼ同じでした。必ず、面接する企業の仕事と関連のあるアルバイトではなくても大丈夫でした。アルバイト経験を通じて、感じたことや学んだことについて聞かれました。もし、韓国であつたら部活やサークル活動、アルバイト経験はあまり聞かれなかったと思います。

また、日本で就職しながら、驚いたのは、企業が資格試験に興味が少ないということでした。韓国ですごく重要だと思われているのに、日本では「そこまで考慮しない」項目の一つでした。TOEICテストの点数が700点程度でも「英語できるよね」くらいしか言わなかったです。また、その他の資格試験も同じでした。資格試験を受けて、良い結果を持ってれば良いですが、あってもなくてもそこまで変わらないというのを感じました。

私は、就職活動を始めたとき、就職活動は、韓国でも、日本でも同じだと思いました。企業から人材を取ること、人材の概念はどこの国でも同じだからと思っていました。しかし、実際にやってみると、人材を見る企業の観点も、取る方式も全く違いました。このようなことを、これから就職活動をする留学生の後輩に伝えて、私より良い就職活動になるように手伝いたいです。

以上です。ご清聴ありがとうございました。